



令和元年度広島市IR資料

広島市財政局財政課





目次

(広島のまち)

■ 国際平和文化都市	2
■ 行事・スポーツ	4
■ 観光・文化	6
■ 市の概要	8
■ 交通アクセス	9
■ 市のまちづくり	10

(平成30年7月豪雨災害への対応)

■ 予算の措置状況	16
-----------------	----

(財政状況と健全化への取組)

■ 「財政運営方針」について	17
■ 特別会計・企業会計決算の状況	18

■ 一般会計の市債発行額と残高の推移	19
■ 歳入構造	20
■ 歳出構造	21
■ 市税収入決算の推移	22
■ 基金残高の推移	23
■ 健全化判断比率の状況	24
■ プライマリーバランス	25
■ 主な出資団体の経営状況	26

(広島市の資金調達)

■ 起債運営	28
■ 市場公募債発行計画	29



国際平和文化都市 ～世界恒久平和の実現に向けて～

迎える平和の取組み

被爆の実相に触れてもらい、**平和を希求する**
「ヒロシマの心」を市民社会に共有してもらう



オバマ大統領広島訪問(平成28年5月)



G7外相会合(平成28年4月)

平和首長会議

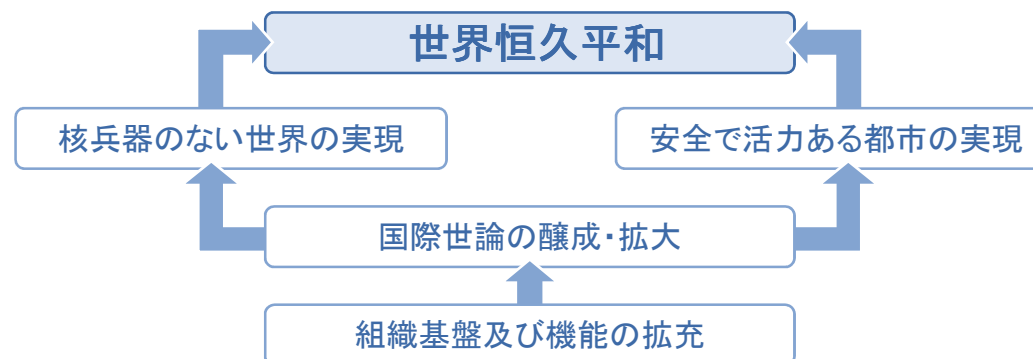
- 設立: 1982年
- 会長: 広島市長

世界163カ国・地域7,772都市が加盟(令和元年7月1日現在)



第9回平和首長会議総会(平成29年8月長崎市で開催)

平和首長会議行動計画(2017年ー2020年)





国際平和文化都市 ～世界恒久平和の実現に向けて～

平和に関する発信力の更なる強化

平和記念資料館再整備

東館 2017年4月リニューアルオープン



新たに被爆前の広島
の町並みの姿を紹介
するほか、原爆投下によ
り一瞬で廃墟となる様
子をコンピュータグラフィックで展示

本館 2019年4月リニューアルオープン



遺品や被災写真など
被爆の事実を肌で感
じとれる実物資料を中
心とした展示

修学旅行の誘致活動の展開

未来を担う若い世代に訴えかける

修学旅行誘致を積極的に推進

- 事前学習の充実をサポート
- 平和学習と合わせた「農山村民泊体験」
- 具体的なプロモーションの展開

誘致活動を強化し、
32.5万人(2018)を35万人(2025)に！



行事・スポーツ ～広島の行事～

フラワーフェスティバル
(5月3日～5日)



平和記念式典
(8月6日平和記念公園)



とうろう流し
(8月6日元安川)



広島東洋カープ



サンフレッチェ広島





行事・スポーツ ～国際的・全国的なスポーツ大会の誘致～

都市型スポーツ最高峰の世界大会
「FISE」



女子テニス国際大会
「ジャパンウィメンズオープンテニス」



女子ホッケー東京2020オリンピックの予選大会
「FIHシリーズファイナル」



ユース世代の陸上日本選手権
「U20・U18日本陸上競技選手権大会」





観光・文化 ～広島の観光名所(世界遺産等)～

原爆ドーム
(世界遺産)



厳島神社
(世界遺産・廿日市市)



平和記念資料館
(戦後建築物初の重要文化財)



広島城



観光客数の推移



入込観光客数(平成30年)

1,336万2,000人
(うち外国人観光客 178万2,000人)

14年連続で1,000万人を上回り
外国人観光客数も大幅増で過去最高



観光・文化 ～音楽のあふれるまち～

広島のみちなか・都心の緑地に音楽があふれる空間

まちかど音楽プロデュース



エリザベト音大協力 ミニコンサート



威風堂々クラシック



水辺のコンサート





市の概要 ～広島市ってこんなまち～



人口

1,199,392人

(令和元年6月1日推計人口)



面積

906.68km²

(平成30年10月1日現在)



気象

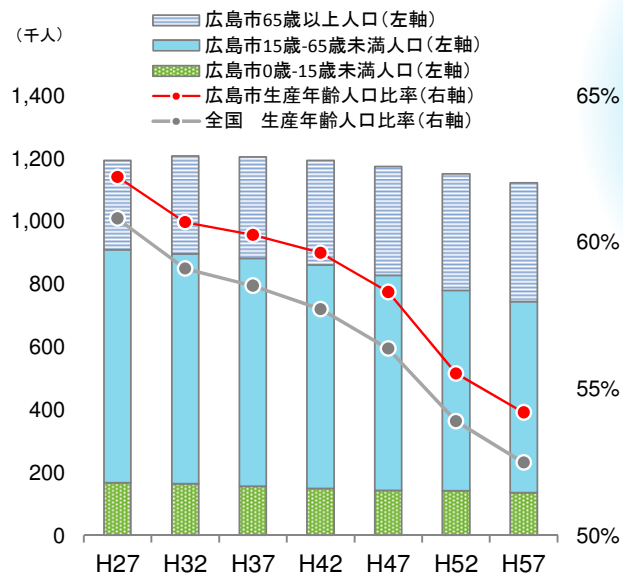
平均気温16.8℃

年間降水量1,879mm

20政令市中第10位の人口を有しています。人口は、当面増加傾向を維持した後、緩やかに減少する見込みです。

いわゆる「瀬戸内気候区」に属しており、冬は瀬戸内海に流れ込む暖流の影響もあり、比較的温和な気候です。

人口推移・推計



※ 国立社会保障・人口問題研究所の推計人口



面積ランキング

	都市名	面積(KM ²)
1	浜松市	1,558.06
2	静岡市	1,411.90
3	札幌市	1,121.26
4	広島市	906.68
5	京都市	827.83

略年表

明治22年	市制施行
昭和20年	原子爆弾により壊滅
昭和24年	「広島平和記念都市建設法」公布
昭和55年	政令指定都市広島誕生
昭和60年	人口100万人突破
平成元年	市制施行100周年
平成6年	第12回アジア競技大会広島開催
平成21年	(新)広島市民球場開設
平成22年	政令指定都市移行30周年
平成23年	松井市長就任(平成27年4月再任)



交通アクセス ～広島市ってこんなまち～

広島市への交通アクセス



飛行機で広島空港まで



札幌	約2時間
仙台	約1時間30分
東京	約1時間20分
沖縄	約1時間45分

※広島空港から広島市内中心部までリムジンバスで約50分

新幹線で広島駅まで



仙台	約6時間
東京	約4時間
名古屋	約2時間20分
新大阪	約1時間30分
博多	約1時間
鹿児島	約2時間30分

広島市内交通

- 自動車専用道路網
- 鉄軌道系交通機関等

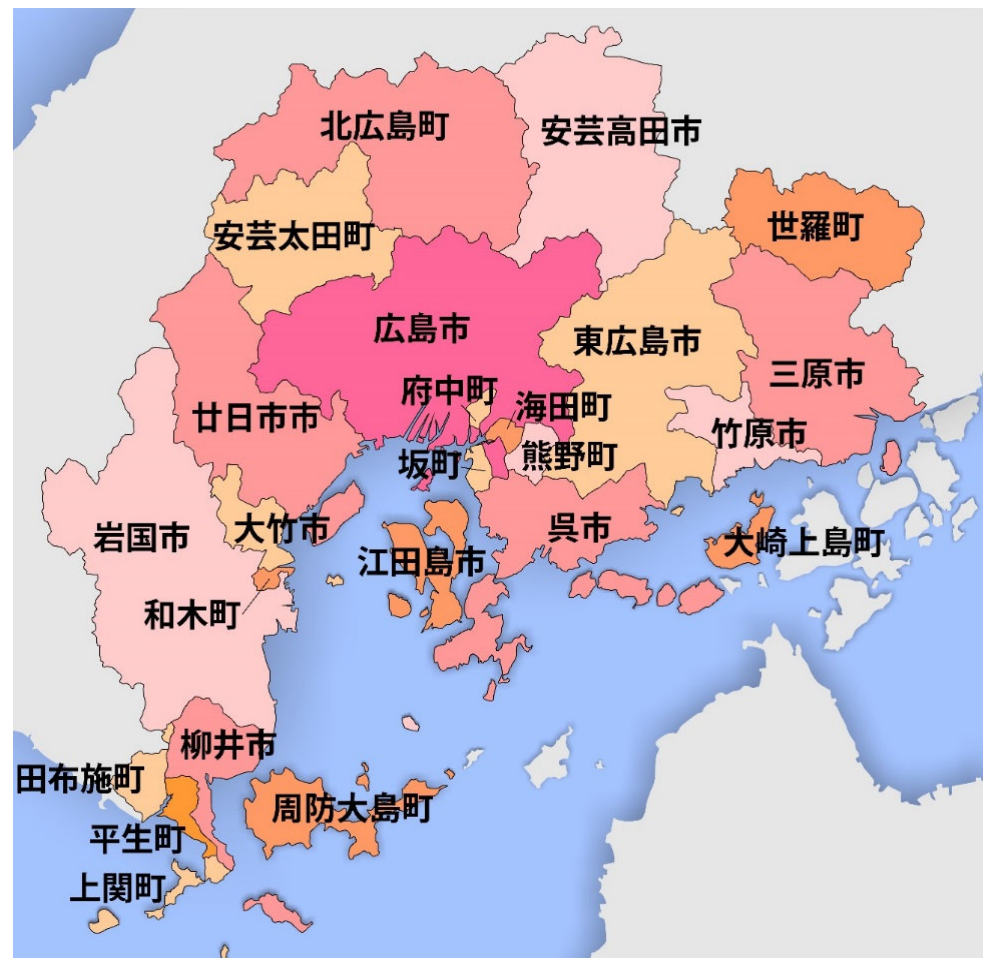




市のまちづくり ～200万人広島都市圏構想～

周辺24市町の連携により圏域内人口**200万人超**の維持を目指す

- 地域の資源を活用して圏域経済の循環を促進
- 本市が持つ医療、教育などの高次都市機能を共有
- 圏域単位で行政サービスの効率化



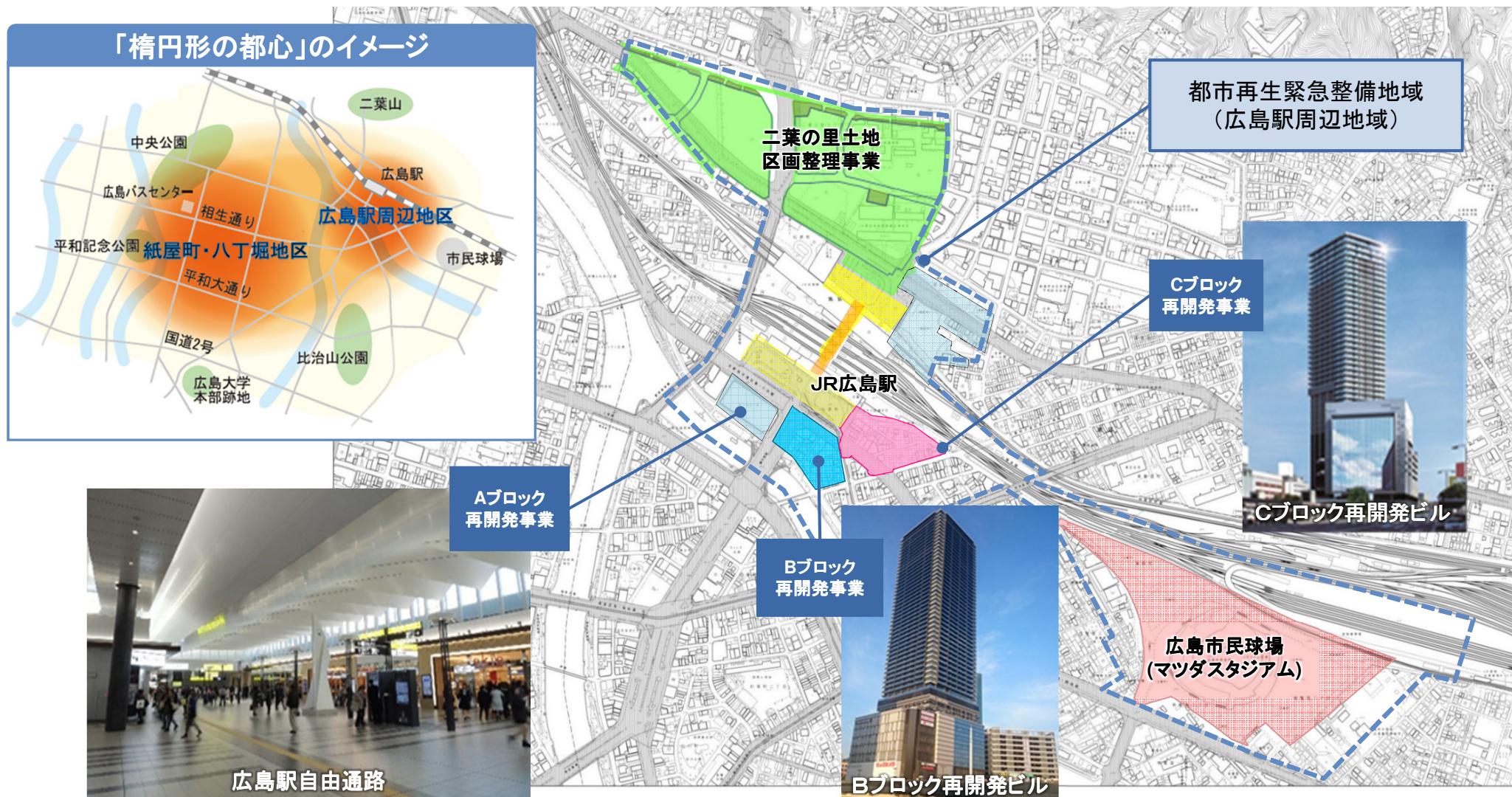
圏域全体の持続的な発展

24市町で構成する「広島広域都市圏」



市のまちづくり ～都心の大改造～

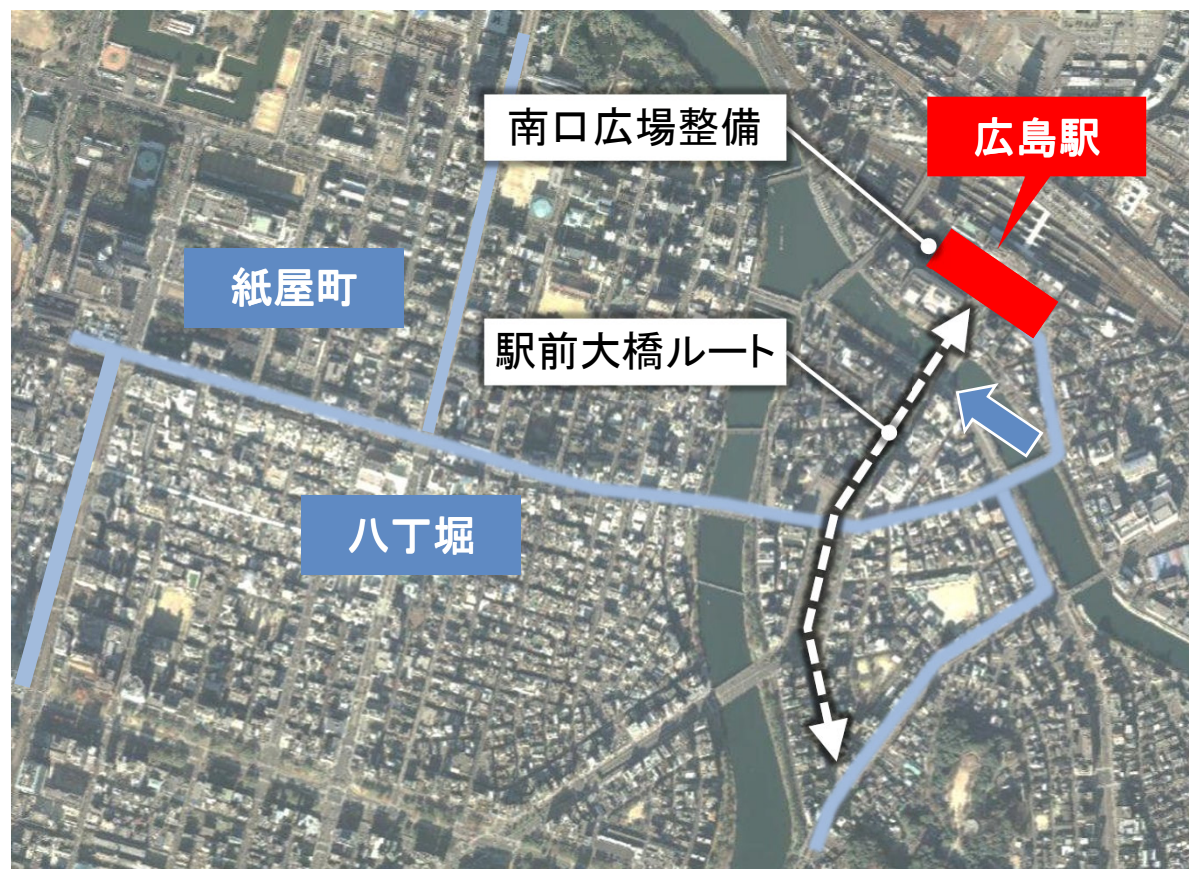
■ 広島駅周辺地域の整備





市のまちづくり ～都心の大改造～

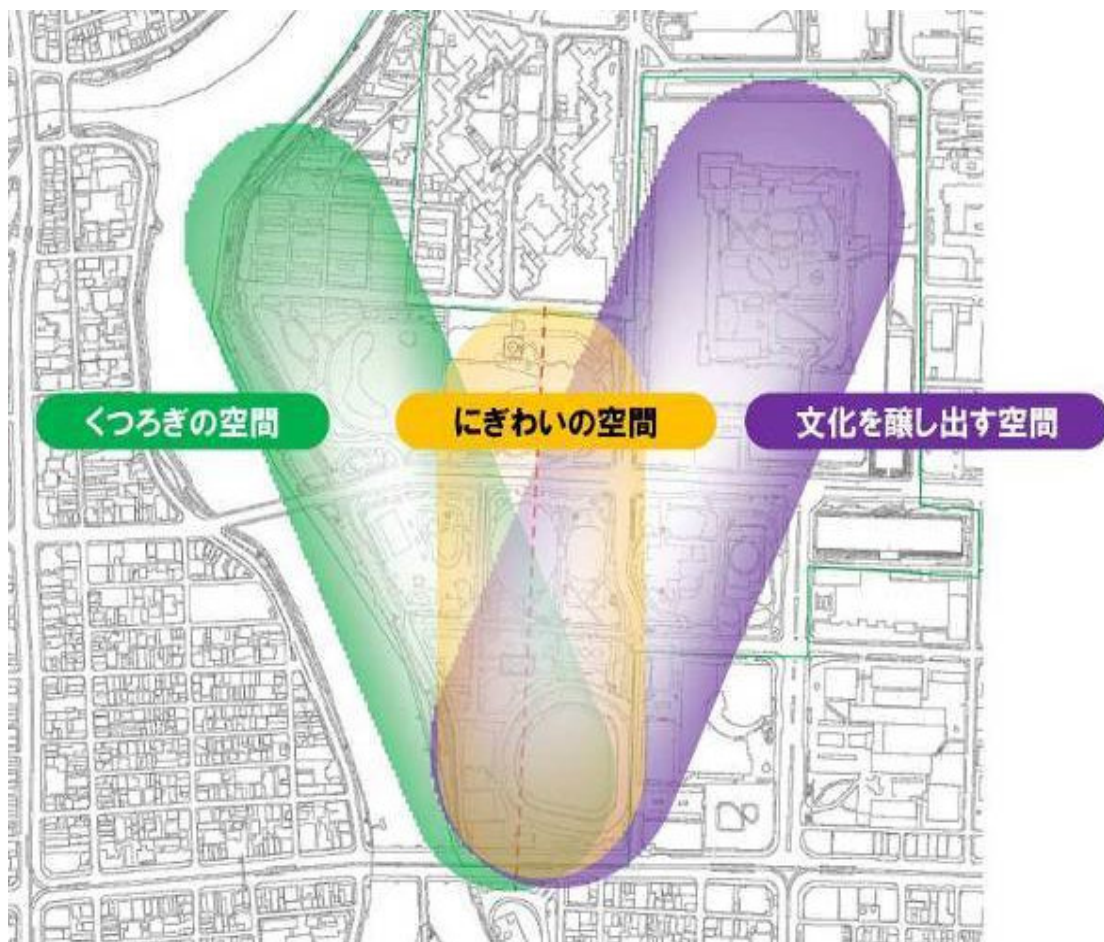
■ 広島駅周辺地域の整備



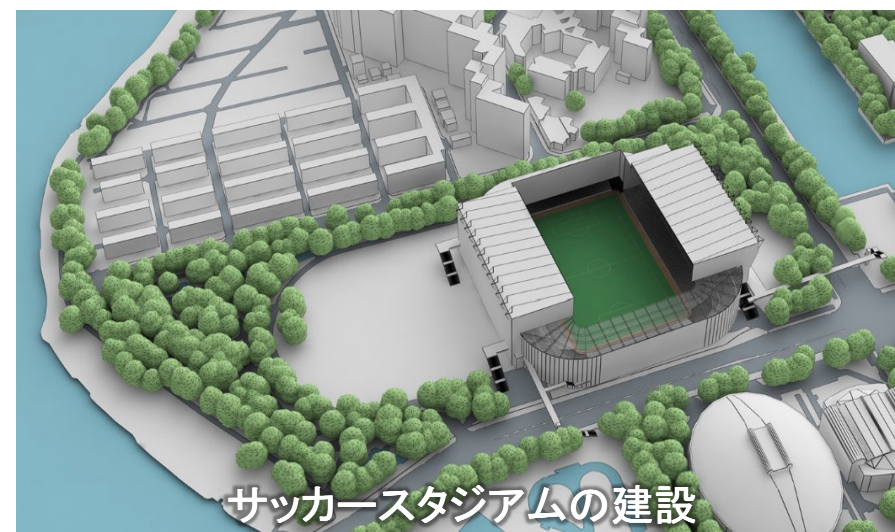


市のまちづくり ～都心の大改造～

■ 旧市民球場跡地を含む中央公園全体の今後の活用



3つの空間特性





市のまちづくり ～ 市内観光拠点の再整備・ネットワーク化～

■ 平和の丘構想の推進



■ 広島城のリニューアル

三の丸での民間活力を活用した飲食、土産物販売施設の整備等、広島城全体のあり方を検討

天守閣のリニューアル

天守閣



二の丸復元建物の有効活用

二の丸



三の丸への便民施設の整備

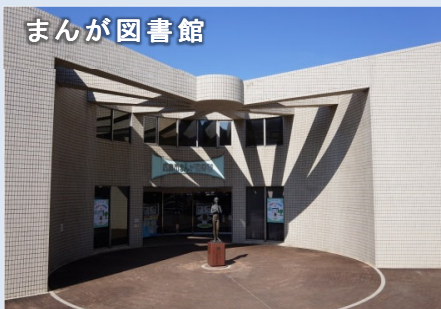


第Ⅰ期 2017年度・2018年度

整備する施設の例

- まんが図書館
- 陸軍墓地

まんが図書館

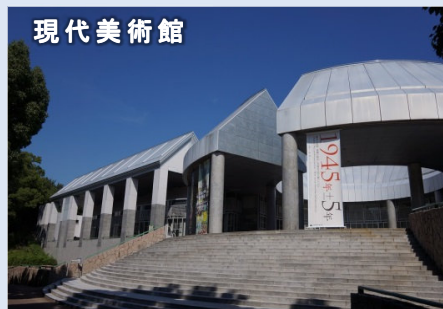


第Ⅱ期 2019年度～2021年度

整備する施設の例

- 現代美術館のリニューアル
- 展望施設等

現代美術館



第Ⅲ期 放射線影響 研究所移転後

整備する施設の例

- 多目的エリア
- 飲食施設(レストラン)



民間活力の導入を検討



市のまちづくり ～安佐市民病院の建替え～

■ 安佐市民病院（北部医療センター）と安佐医師会病院の整備

安佐市民病院（北部医療センター）

- **脳・心臓血管センター**を設置
(内科・外科によるチームを構成)
- 県北西部、島根県の一部を含めた**救命救急の拠点**へ
(屋上に救急用ヘリポートを設置)
- 患者の皆様への**ホスピタリティの充実**
⇒ 個室率を50%以上とし、デイ・スペースを広く確保

災害医療拠点機能も！

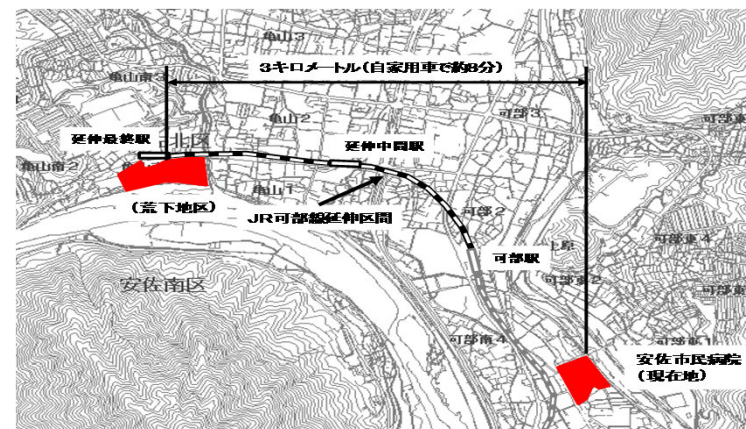
密接に連携

安佐医師会病院（現北館）

- **地域包括ケア病床**
在宅医療と病院でのケアを密接に連携
- 以下の施設を併設予定
- **地域包括ケア拠点**
在宅医療、介護などを有機的に結びつけるための拠点
 - 可部夜間急病センター
 - 安佐准看護学院

広島市民病院、広島大学病院、県立広島病院と連携し、**高度医療ネットワークを構築**

これからの**地域包括ケアと在宅医療の連携**をけん引する先進的な病院として位置付け



安佐市民病院（北部医療センター）整備イメージ



平成30年7月豪雨災害への対応 ～予算の措置状況～

広島市全会計予算(平成30年7月豪雨災害関連)

295億7,813万円(平成30年度及び令和元年度)

財源内訳	金額	年度	金額
国・県支出金	128億9,644万円	30年度	219億1,458万円
地方交付税	7億2,600万円		
分担金・負担金	2億2,333万円		
自己財源(企業会計)	8億1,880万円	元年度	76億6,355万円
市債	127億3,533万円		
うち 交付税措置分	86億5,185万円		
一般財源	21億7,823万円	合計	295億7,813万円



令和元年度当初予算の内容

1 災害復旧	73億2,917万円
● 河川施設災害復旧	35億9,200万円
● 橋りょう災害復旧	16億3,600万円
● 水道施設災害復旧	10億4,096万円
● 農林業施設災害復旧	6億1,341万円

など

2 被災者への支援	3,880万円
● 被災者への仮住宅の提供	3,366万円
● 被災者の健康支援等	413万円

など

3 災害を踏まえた防災・減災の取組	2億9,558万円
● 雨水排水施設の整備	1億5,200万円
● 大規模災害時における救急体制の強化	4,931万円
● 防災情報共有システムの改修	3,501万円

など

主な用途

事業区分	金額
道路橋りょう施設災害復旧	72億1,990万円
河川施設災害復旧	65億4,500万円
民有地堆積土砂等排除	53億6,000万円
農林業施設災害復旧	32億9,550万円
水道施設災害復旧	18億4,422万円
下水道施設災害復旧	10億8,678万円



「財政運営方針」について ～広島市の財政状況と健全化への取組～

「財政運営方針(平成28年度～平成31年度)」

基本方針

都市としての
活力を生み出す財政運営

まちづくりを支え続けることが
できる財政運営

将来のまちづくりを
見据えた財政運営

目標

収支の均衡

中期財政収支見通しで見込まれた収支不足を解消し、計画期間における
収支の均衡を図る。

市債残高の抑制

臨時財政対策債の残高及び減債基金積立累計額を除いた実質的な市債残高を、平成28年度から平成31年度までの4年間で**1割程度減少**させる。

達成状況

中期見通しで見込まれた収支不足を解消

- 平成28年度決算
101億円の収支不足見込みを解消
- 平成29年度決算
146億円の収支不足見込みを解消
- 平成30年度決算見込(速報値)
130億円の収支不足見込みを解消

市債残高抑制目標を達成

- 平成28年度決算
計画残高 6,949億円 → 残高 6,748億円(▲**201**億円)
- 平成29年度決算
計画残高 6,770億円 → 残高 6,621億円(▲**149**億円)
- 平成30年度決算見込(速報値)
計画残高 6,610億円 → 残高 6,532億円(▲ **78**億円)



特別会計・企業会計決算の状況 ～広島市の財政状況と健全化への取組～

■ 平成29年度決算(特別会計)

(単位:百万円)

会計名	歳入A	歳出B	差引額(A-B)C	翌年度繰越充当財源D	実質収支(C-D)	一般会計からの繰入
特別会計	415,143	411,221	3,922	-	3,922	120,576
住宅資金貸付	5	5	-	-	-	-
母子父子寡婦福祉資金貸付	693	474	219	-	219	2
物品調達	46	38	8	-	8	-
公債管理	149,427	149,427	-	-	-	97,420
広島市民球場	971	971	-	-	-	-
用地先行取得	11	11	-	-	-	11
西風新都	1,654	1,654	-	-	-	-
後期高齢者医療	13,644	13,140	504	-	504	2,186
介護保険	91,566	89,130	2,436	-	2,436	12,770
国民健康保険	133,206	133,206	-	-	-	7,195
競輪	11,954	11,198	755	-	755	-
中央卸売市場	2,922	2,922	-	-	-	970
国民宿舎湯来ロッジ等	64	64	-	-	-	23
駐車場	665	665	-	-	-	-
開発	1,675	1,675	-	-	-	-
市立病院機構資金貸付	6,641	6,641	-	-	-	-
財産区会計	22	3	18	-	18	-
元宇品町財産区	3	3	-	-	-	-
三入財産区	7	-	7	-	7	-
砂谷財産区	12	-	12	-	12	-
合 計	415,165	412,224	3,941	-	3,941	120,576

■ 平成29年度決算(企業会計)

(単位:百万円)

区分	収益的収支(損益勘定)			資本的収支(資本勘定)					
	収入	支出	収支差引	収入	企業債	支出	企業債償還金	収支差引	補填財源
水道事業	23,820	21,705	2,114	4,156	3,422	12,479	5,799	▲8,322	8,322
下水道事業	45,295	43,452	1,843	45,905	31,575	64,613	42,564	▲18,708	18,708
安芸市民病院事業	2,132	2,131	1	218	116	271	145	▲53	53
合 計	71,246	67,288	3,958	50,280	35,113	77,363	48,508	▲27,283	27,283

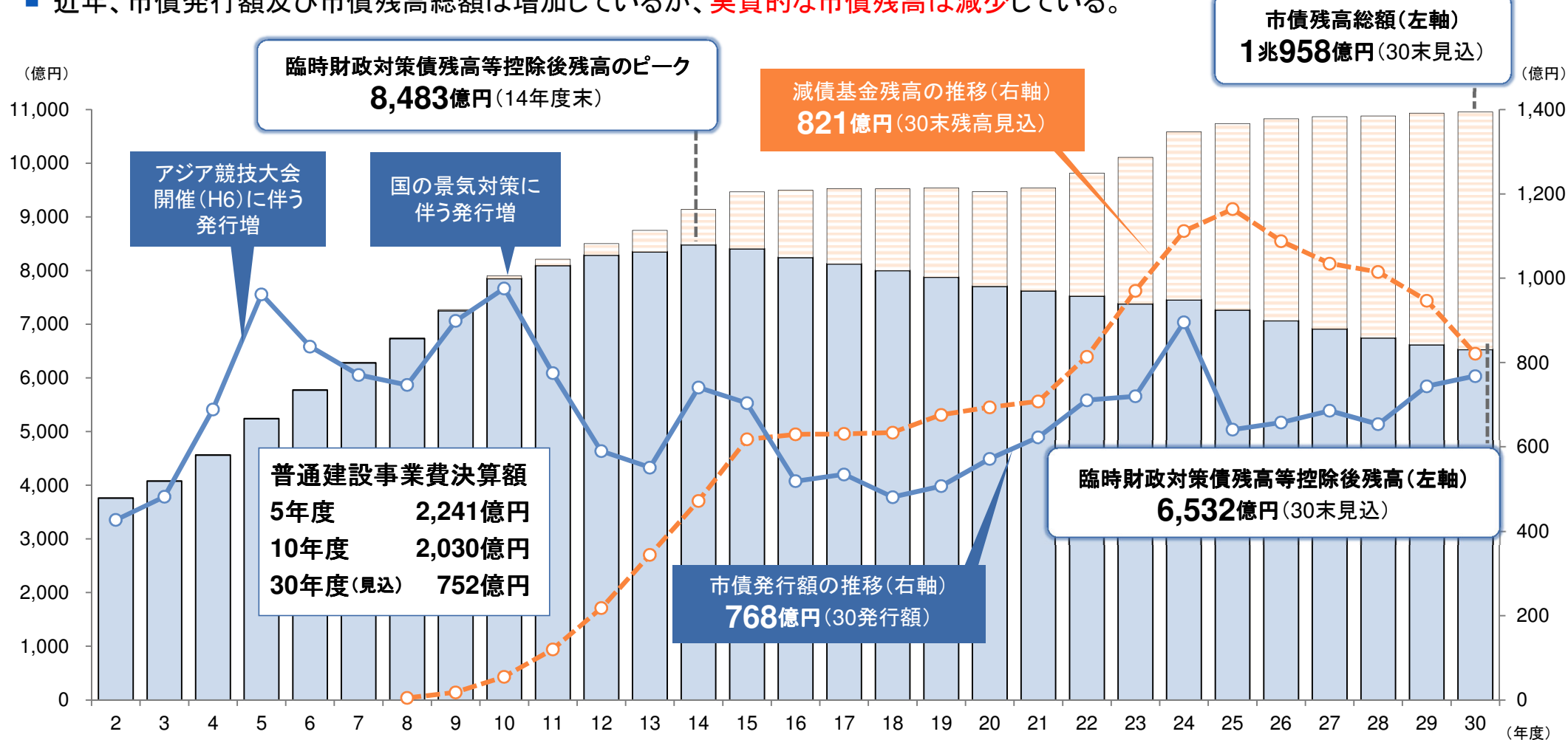


一般会計の市債発行額と残高の推移 ~広島市の財政状況と健全化への取組~

臨時財政対策債残高等
控除後残高とは

市債残高総額から臨時財政対策債の残高と減債基金積立累計額を除いた実質的な市債残高

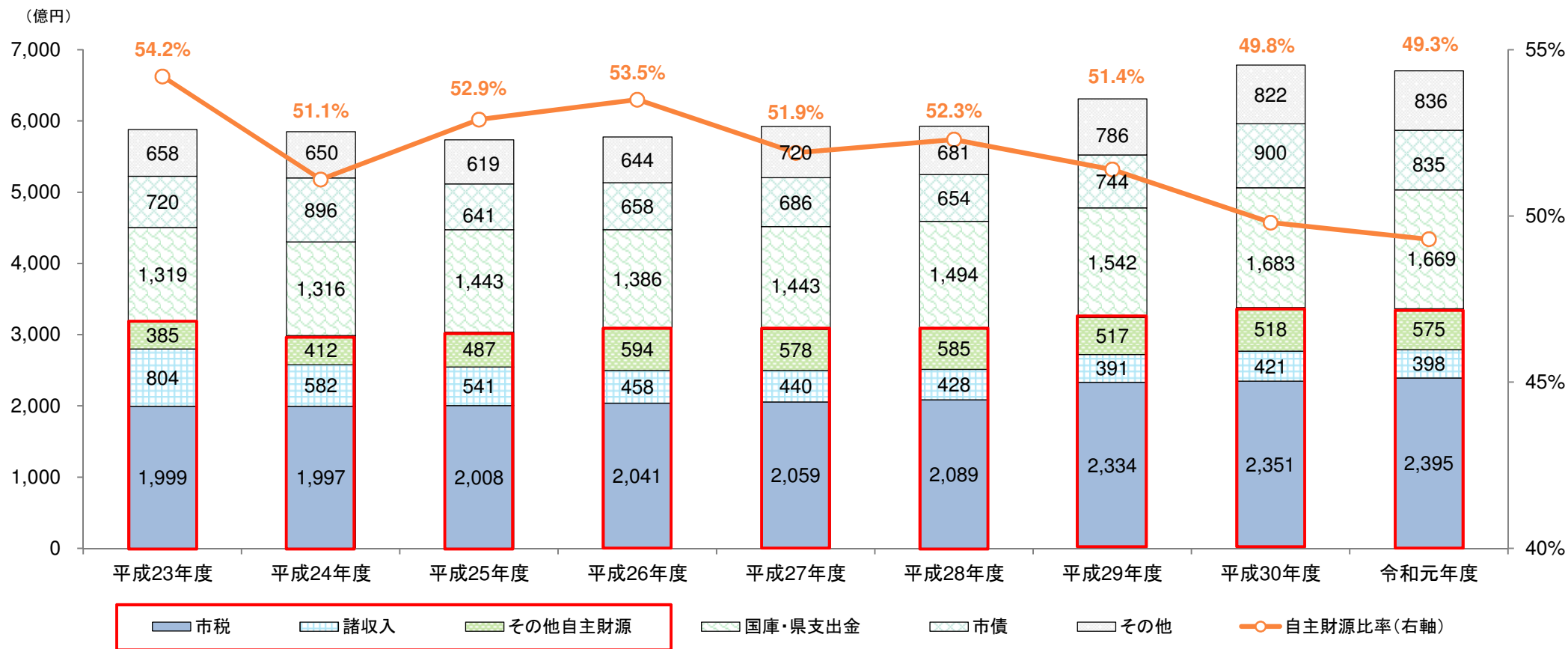
- 近年、市債発行額及び市債残高総額は増加しているが、**実質的な市債残高は減少**している。





歳入構造(一般会計) ～広島市の財政状況と健全化への取組～

- 平成29年度一般会計決算の自主財源比率は51.4%で、自主財源の71.9%が市税である。
- 平成30年度・令和元年度は、平成29年度と比較して自主財源は増加しているが、災害復旧事業に対する国庫・県支出金の増加等により自主財源比率は低下している。



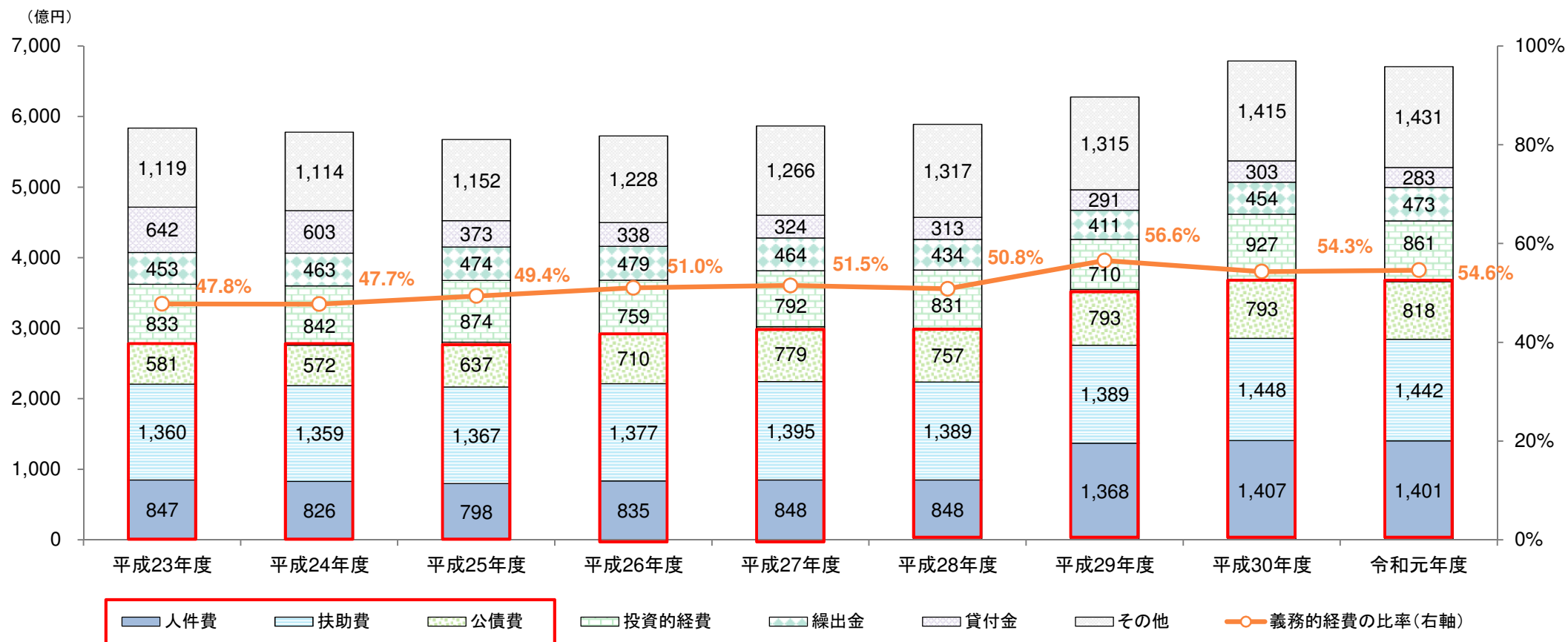
※ 平成29年度までは決算額、平成30年度は2月補正後予算額、令和元年度は6月補正後予算額

※ 平成29年度における県費負担教職員制度に係る包括的な権限の移譲に伴う財源措置分(分離課税所得割交付金及び県民税所得割臨時交付金)については市税に含めている(平成29年度・平成30年度・令和元年度)。



歳出構造(一般会計) ～広島市の財政状況と健全化への取組～

- 平成29年度一般会計決算の義務的経費比率は56.6%である。
- 平成30年度・令和元年度は、平成29年度と比較して義務的経費は増加しているが、災害復旧事業費が増加したこと等により、義務的経費比率は低下している。
- なお、平成29年度より人件費が増加しているのは、県費負担教職員制度に係る権限移譲によるためである。

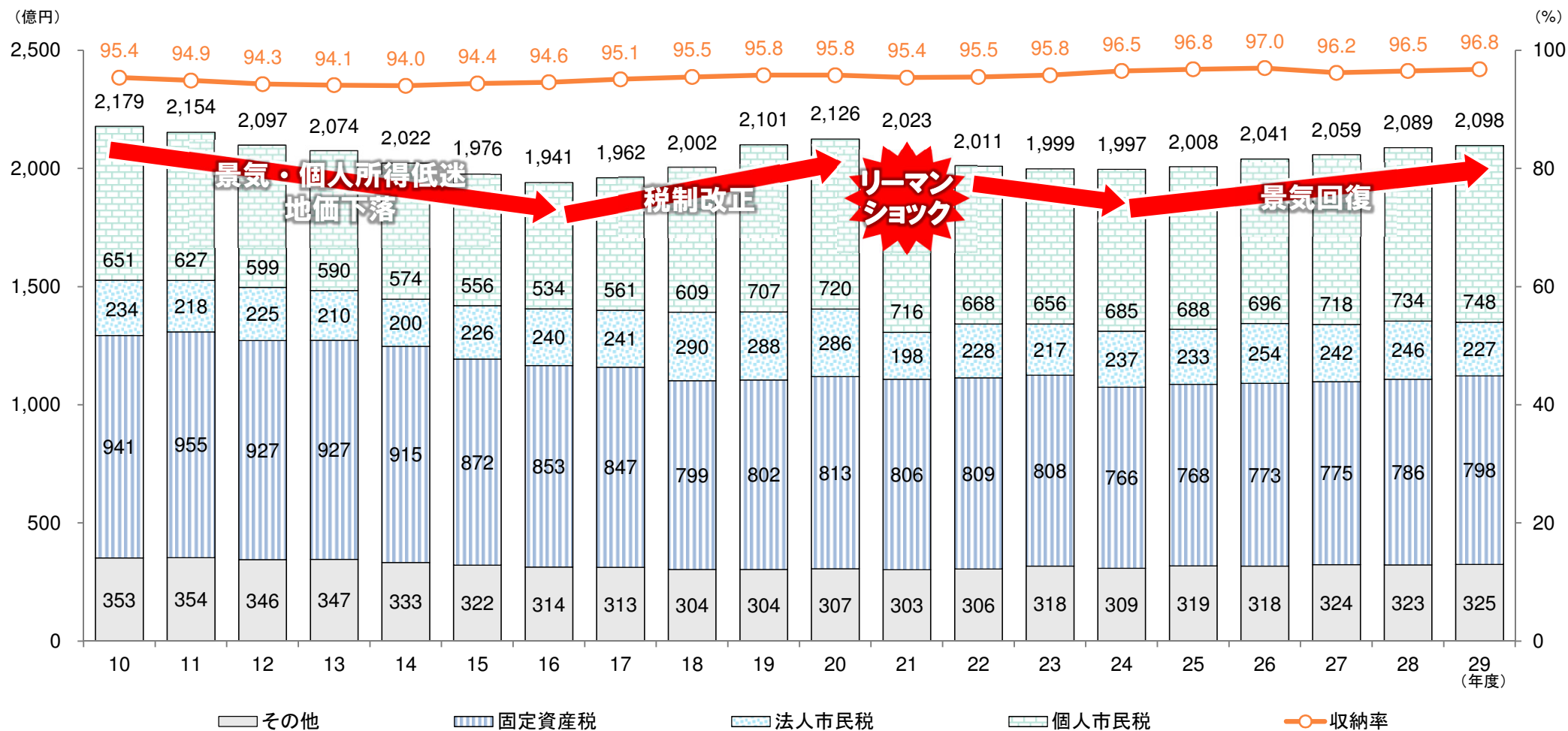


※ 平成29年度までは決算額、平成30年度は2月補正後予算額、令和元年度は6月補正後予算額



市税収入決算の推移 ～広島市の財政状況と健全化への取組～

- 景気の動向や税制改正の影響を受けて、市税は増減。収納率は、近年ほぼ横ばい。

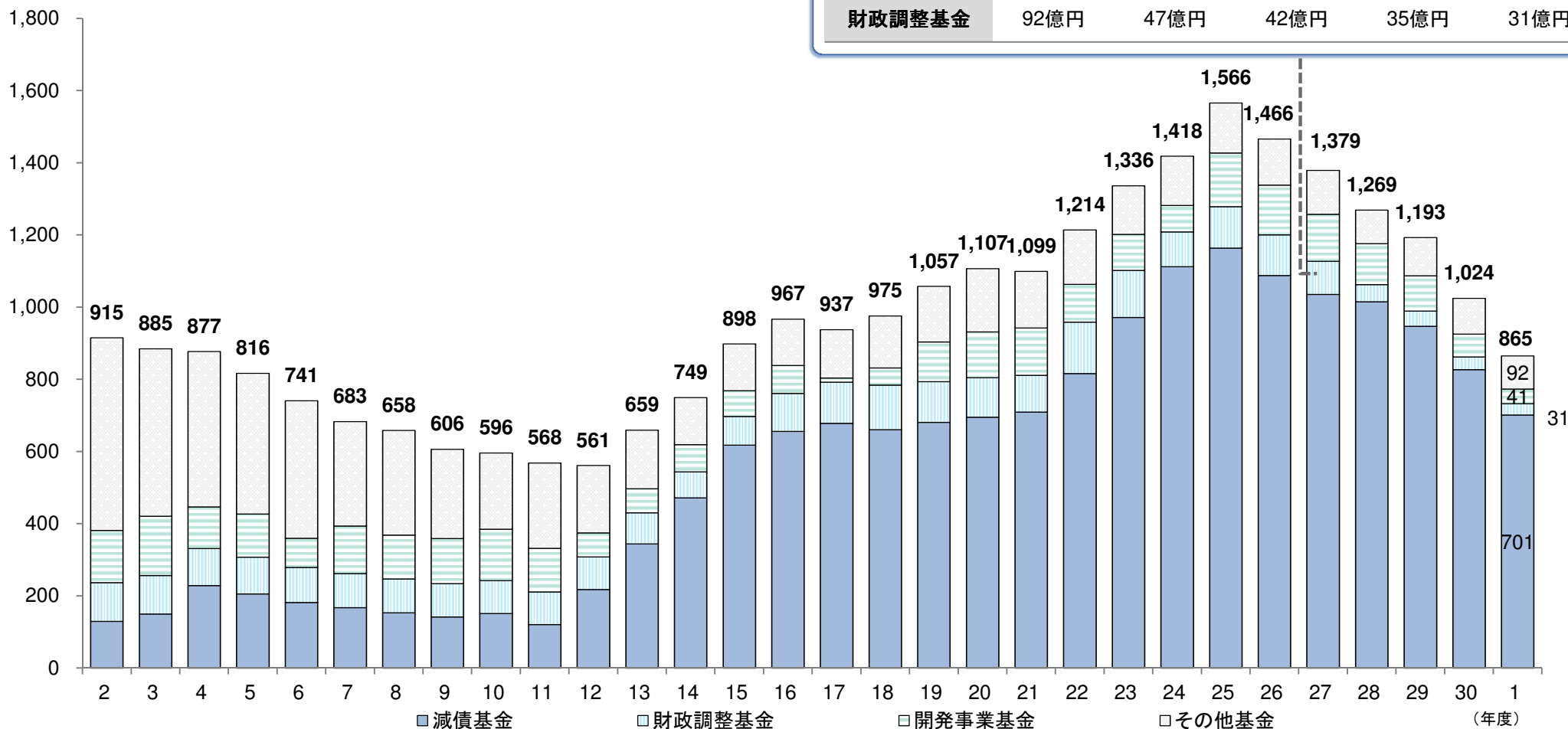




基金残高の推移 ～広島市の財政状況と健全化への取組～

■ 広島市の基金残高の推移

(億円)



※ 平成29年度までは決算、平成30年度は2月補正後予算ベース、令和元年度は6月補正後予算ベース

- 令和元年度末の全基金残高は865億円

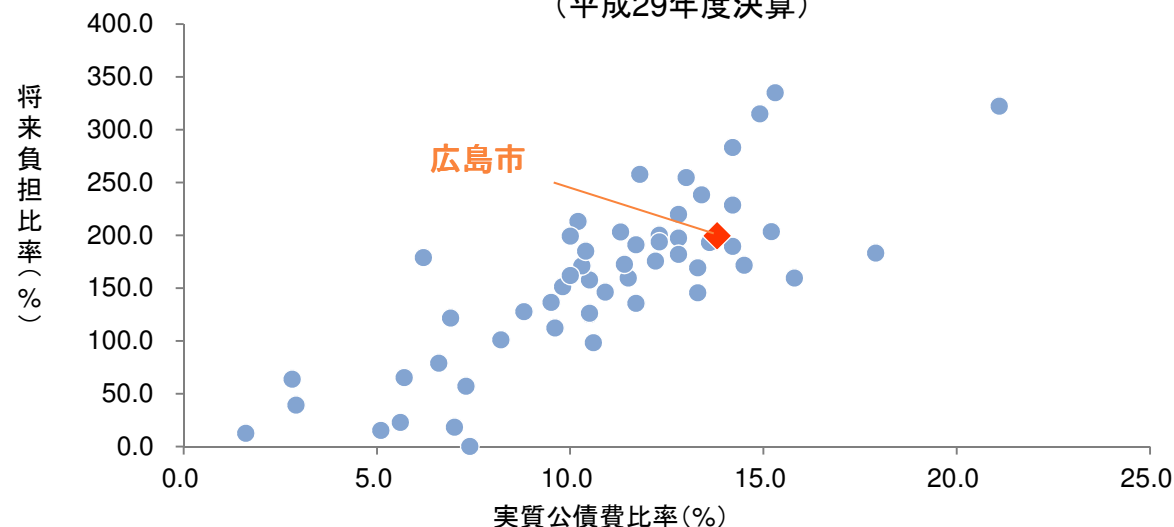


健全化判断比率の状況 ～広島市の財政状況と健全化への取組～

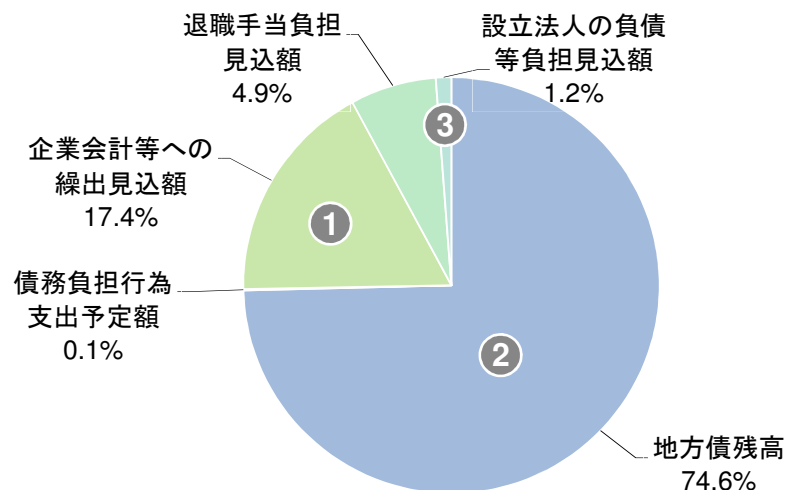
- 実質公債費比率、将来負担比率とも、財政の健全化等に取り組む必要がある基準値には達していない。

区分	広島市の状況			早期健全化基準	財政再生基準
	H27	H28	H29		
実質赤字比率	— (実質赤字は生じていない)			11.25	20.00
連結実質赤字比率	— (実質赤字は生じていない)			16.25	30.00
実質公債費比率	15.0	14.7	13.8	25.0	35.0
将来負担比率	223.9	222.8	199.6	400.0	

市場公募地方債発行55団体の健全化判断比率の分布状況
(平成29年度決算)



- 将来負担額(29年度算定)15,311億円



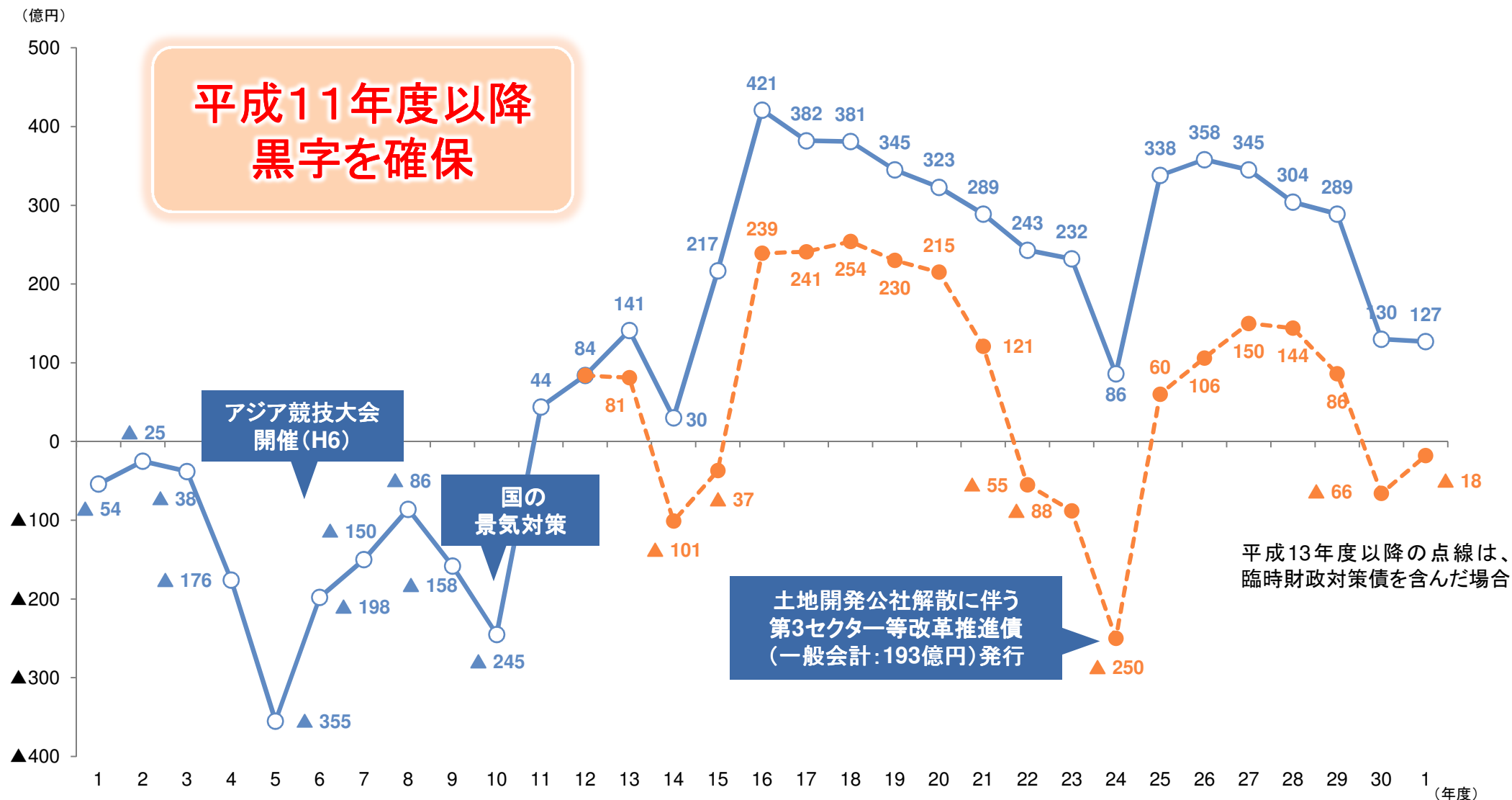
① 企業会計等への繰出見込額 (億円)	
水道事業	40
下水道事業	2,593
安芸市民病院事業	10
中央卸売市場事業	17
その他	4
合計	2,664

② 地方債残高 (億円)	
一般会計債	10,936
うち道路橋りょう・都市計画事業債	3,799
うち臨時財政対策債	3,494
うち教育関係事業債	919
特別会計債	492
合計	11,428

③ 設立法人の負債等負担見込額 (億円)	
広島地下街開発(株)	12
広島高速交通(株)	140
その他	31
合計	183



プライマリーバランス ～広島市の財政状況と健全化への取組～



※ 平成29年度までは決算、平成30年度は2月補正後予算ベース、令和元年度は6月補正後予算ベース



主な出資団体(第3セクター)の経営状況

～広島市の財政状況と健全化への取組～

■ 平成30年度

(単位:百万円)

区分			広島高速道路公社	株式会社			
				広島市流通センター	広島高速交通	広島駅南口開発	広島地下街開発
出資	資本金		82,807	1,000	10,000	5,960	100
	うち本市出資額		41,403	700	5,100	3,762	-
	(出資比率%)		(50.0)	(70.0)	(51.0)	(63.1)	(43.3)
貸借対照表	資産	流動資産	7,795	64	4,860	1,142	761
		固定資産	382,353	4,139	31,462	30,423	12,118
		繰延資産	290	0	0	0	0
		資産合計	390,438	4,203	36,322	31,565	12,879
	負債	流動負債	29,210	179	17,617	881	7,058
		固定負債	210,576	314	18,109	24,894	12,281
		特別法上の引当金等	67,711	0	0	0	0
		負債合計	307,497	493	35,726	25,775	19,339
	純資産	資本金	82,807	1,000	10,000	5,960	100
		剰余金等	134	2,710	▲ 9,404	▲ 170	▲ 6,560
		純資産合計	82,941	3,710	596	5,790	▲ 6,460
		負債・純資産合計	390,438	4,203	36,322	31,565	12,879
	損益計算書	経常損益	営業収益 a	12,857	452	4,876	2,383
営業費用等 b			11,111	226	4,376	1,560	1,053
営業利益 c = a - b			1,746	226	500	823	52
営業外収益 d			43	1	8	11	9
営業外費用 e			1,597	10	55	347	81
経常利益 c + d - e			192	217	453	487	▲20
特別損益		▲192	0	0	▲ 25	0	
当期利益(税引前)		0	217	453	462	▲20	
当期利益(税引後)		0	151	298	320	▲21	
＜参考＞前期利益(税引後)		＜0＞	＜147＞	＜360＞	＜342＞	＜8＞	

※ 広島地下街開発㈱は、平成22年度に資本金を1億円に減資しているが、本市の出資比率は、従前同様43.3%である。



主な出資団体(第3セクター)の経営状況

～広島市の財政状況と健全化への取組～

■ 経営状況・事業計画

広島高速道路公社	<ul style="list-style-type: none">令和元年度は、事業中路線である広島高速5号線において、トンネル工事等を進める。
広島市流通センター(株)	<ul style="list-style-type: none">運輸業界は国内貨物の総輸送量が対前年度0.9%減と3年ぶりにマイナスになった。こうした状況下、平成30年10月からのトラックターミナル利用4バス増等により平成30年度も引き続き黒字を確保した。令和元年度は、消費税増の影響による下期の輸送量減少が見込まれるものの、国内貨物の総輸送量は小幅な増加が見込まれ、引き続き黒字を確保する見込である。
広島高速交通(株)	<ul style="list-style-type: none">平成30年度は、7月豪雨による影響等があったものの、通勤定期利用が年間を通して堅調に推移したことから、定期合計で1日平均2.0%の増加となったこと等により、年全体では1日平均利用者数は0.7%増の65,454人、1日平均運輸収入は微増の1,222万円となり7年連続で黒字を達成し、累積損失が2億9,798万円減少した。令和元年度は、新型車両運行を契機としたイベントの実施及び関連グッズの販売や沿線施設等と連携した魅力発信等により、利用者の増加を目指す。
広島駅南口開発(株)	<ul style="list-style-type: none">開業20年目を迎えた平成30年度は、売上高が駐車場収入の減少などにより23.8億円と対前年度833万円減少し、売上原価がエールエールA館の業務委託費の増加などにより14.7億円と対前年度2,283万円増加した結果、営業利益は8.2億円と対前年度2,698万円の減少となったが、前年度に続き、当期純利益を計上した。令和元年度は、専門店街全体の魅力アップと売上の維持・向上、駐車場や地下広場の利用促進といった取組を進め、引き続き、平成17年に6月に議会に承認された経営改善スキームに基づき、長期的に健全で安定した会社経営に取り組む。
広島地下街開発(株)	<ul style="list-style-type: none">開業18年目を迎えた平成30年度は、売上高が家賃収入の減少などにより11.5億円と対前年度3,143万円減少し、売上原価が減価償却費や水道光熱水費の減少などにより8.8億円と対前年度329万円減少した結果、営業利益は0.5億円と対前年度2,667万円減少し、3年ぶりに経常損失を計上した。令和元年度は、最重要課題である空き区画の解消に向けて、店舗誘致業務の一部を外部委託し、幅広い業種の店舗誘致を行い、SNSを利用したシーズンプロモーションの実施、様々なイベント等の開催、プロスポーツ団体と連携した情報発信の展開などの取組により、経営基盤の強化及び都心におけるにぎわい創出を図る。



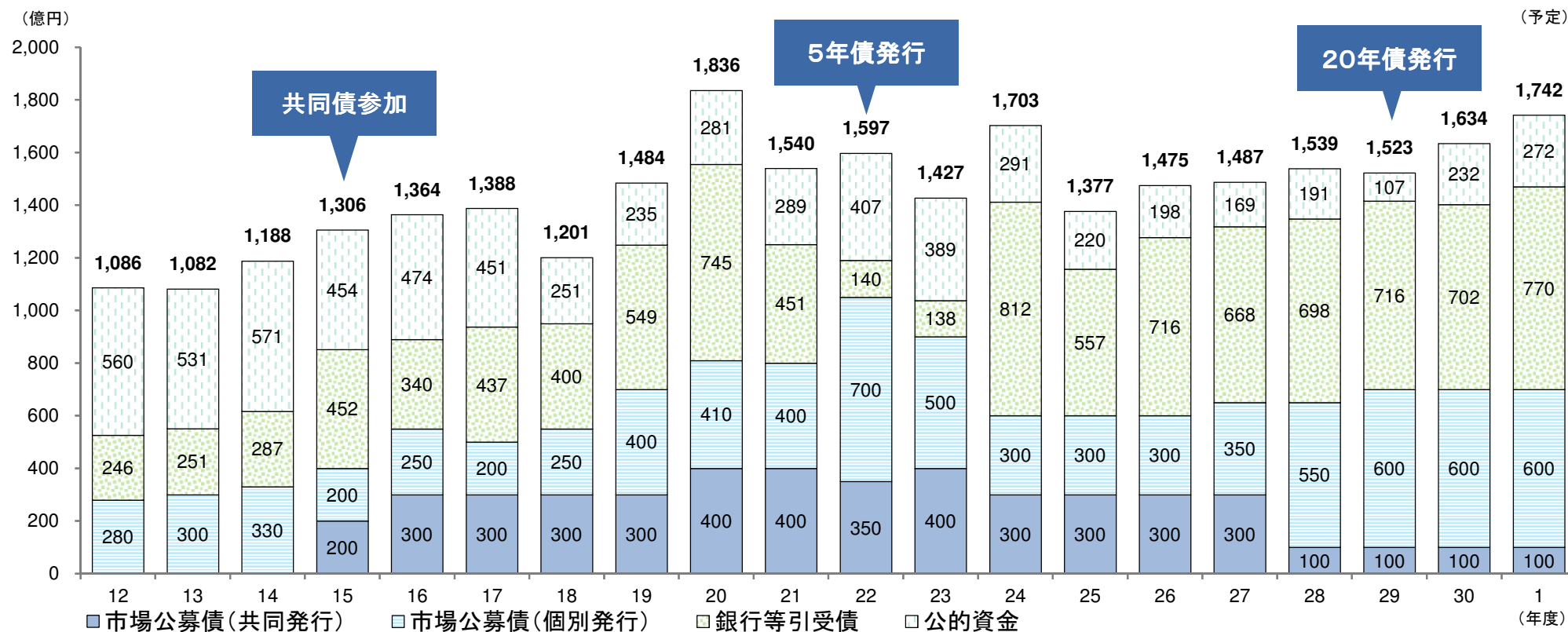
起債運営 ～広島市の資金調達～

資金調達の方針

公的資金から民間資金へ

- 民間資金へのシフトに伴い市場公募化等を推進
- 昭和57年度に全国型市場公募債発行団体となり10年債を発行開始、平成22年度から5年債を発行、**平成29年度から20年債を発行**
- 平成15年度から共同発行市場公募債の発行開始、広島市も参加

市債発行額の推移





市場公募債発行計画 ～広島市の資金調達～

令和元年度 発行計画

発行区分	発行年限	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
個別発行	5年	100				100									200
	10年									100		100			200
	20年	100						100						200	
共同発行	10年	30				20		30		20				100	
合計		0	0	130	0	0	20	100	30	100	20	100	0	700	

(参考)平成30年度 発行実績

発行区分	発行年限	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
個別発行 (※)	5年	100				100									200
	10年									100		100			200
	20年	100						100							200
共同発行	10年	30				20		30		20					100
合計		0	0	130	0	100	20	100	130	100	20	100	0	700	

(※)個別発行の利率

年限	発行月	発行日	表面利率	応募者 利回り
5年	6月	H30.6.25	0.030%	0.030%
	10月	H30.10.25	0.020%	0.020%
10年	12月	H30.12.25	0.195%	0.195%
	2月	H31.2.25	0.146%	0.146%
20年	8月	H30.8.21	0.639%	0.639%
	11月	H30.11.21	0.706%	0.706%



【ご参考】 広島グルメガイド



広島お好み焼き



もみじ饅頭



広島つけ麺



広島菜漬け



コイワシ



山フグ(刺身コンニャク)



クロダイ



アナゴ



広島カキ



汁なし担担麺

Hiroshima Gourmet Guide



広島を世界に誇れる「まち」に

「対話・ビジョン・実行」によって市政に活力を生み出す

対話

広島の「秘めたる力」を引き出す
一連の対応や行動

ビジョン

夢であると同時に展望であり、
実現するためのもの

実行

ビジョンを大切にしながら、
今置かれた状況に真剣に向き合い、
確実に実現

本資料に関するお問い合わせ先

広島市財政局財政課資金係（担当 森田、岸岡）

- TEL 082-504-2074
- FAX 082-504-2099
- E-mail zaisei@city.hiroshima.lg.jp
- HP <http://www.city.hiroshima.lg.jp/index2.html>
- トップページ ▶ 市政全般 ▶ 広島市の概要 ▶ 市の財政 ▶ 市債・投資家情報

本資料は、広島市債の購入をご検討いただいている投資家の方々に、広島市の財政状況等について説明することを目的とするものであり、特定の債券の売り出しまたは募集を意図するものではありません。

本資料中の平成30年度の数値で、平成30年度2月補正予算後又は決算見込（令和元年6月時点の速報値）の数値は、今後の決算公表により確定します。